

3. 留学生指導部門報告 (2008年4月～2009年3月)

出原 節子

1 はじめに

留学生指導部門では、担当教員（出原）が以下のような業務を行っている。

1. 外国人留学生に対する修学・研究上、生活上及び異文化適応上の指導・助言
2. 異文化教育及び日本語教育
3. 留学生と日本人学生の相互理解、コミュニケーション能力を高めるための活動
4. 海外留学に関する情報の提供及び留学相談
5. 留学生活に関わる各種情報の提供、地域交流団体等が主催する行事の案内

小稿では、留学生指導部門が行った主な活動について、報告する。

2 指導・助言

2008年度は以下のように面談時間（OH）を設けたが、面談時間以外にも訪ねて来る学生がいるので、時間のある限り対応している。

＜2008年度前期面談時間＞

	1限	2限	3限	4限	5限
月	OH	OH	OH	OH	
火	OH				OH
水	OH	OH			
木	OH	OH	OH	OH	OH
金	OH	OH	OH	OH	

＜2008年度後期面談時間＞

	1限	2限	3限	4限	5限
月	OH	OH	OH	OH	OH
火	OH	OH	OH	OH	OH
水	OH	OH			
木	OH	OH			
金	OH	OH	OH	OH	

指導部門に寄せられた様々な問題に対しては、留学生センター日本語教育部門教員及び非常勤講師をはじめ、各学部、留学支援チーム（旧留学支援室）、学生支援グループ（旧学生支援課）等と連携して対処した。

(1) 留学生に対する指導・助言

件数： 113件（面談）
2件（メール）

(2) 日本人学生に対する指導・助言

件数： 11件

(3) その他（富山大学各学部の指導・助言教員、外部交流団体等からの相談）

件数： 24件

3 異文化理解・交流

(1) 「日本事情」

日本語研修コース「日本事情」の授業に、学内から募集した『国際交流学生ボランティア』に参加してもらい、留学生との合同授業を行っている。この授業は、①語学（主として日本語）能力の向上、②日本人学生による留学生支援、③異文化理解、④自文化理解、⑤異文化交流活動の拠点化、を目的としている。

(2) 見学

前期と後期に原則各1回、日本語研修コースのフィールドトリップを実施している。同時に「富山大学短期留学生受入れ体制要項」に基づく短期留学生のためのスタディトリップも実施している。見学には日本人学生も希望があれば付き添いとして参加を認め、異文化交流の場としている。2008年度も日本文化への理解を深めるため、近隣の博物館等を見学した。

・フィールドトリップ&スタディトリップ（前期）

<実施日・見学場所>

2008年5月30日（金） 富山市民俗民芸村・五百羅漢

<参加者数>

留学生 12人

日本人学生 1人

・フィールドトリップ&スタディトリップ（後期）

<実施日・見学場所>

2008年11月21日（金） 富山市民俗民芸村・五百羅漢

<参加者数>

留学生 12人

日本人学生 1人

(3) ホームステイ

財団法人とやま国際センターの斡旋により、1999年度後期より留学生センター所属の文部科学省国費留学生（予備教育生）に対し1泊2日のホームステイ・プログラムを実施している。

18期生は、妻帯者のイスラム教徒であったので、宿泊先に迷惑をかけたくないとの学生の希望で、ホームステイは行わなかった。その代わり、妻と一緒に日帰りのホームビジットに参加した。

19期生は2人の国費留学生の配置があったが、そのうちの1人は、宿泊は都合が悪いとの理由でホームステイは行わなかったが、ホームビジットに参加した。もう1人は、研究室の都合でホームステイにもホームビジットにも参加出来なかった。

(4) ホームビジット

日本語研修コースには、文部科学省からの国費留学生だけでなく、学内公募による受講生を受け入れている。「留学生センター在籍者ホームステイ実施要項」制定時には、学内公募の学生がいなかったため、これらの学生はホームステイ・プログラムの対象者に含まれていない。そこで、富山市民国際交流協会の協力により、学内公募の学生を対象とした1日家庭訪問プログラムを2002年度前期より実施している。

＜実施日・参加者数＞

2008年7月12日（土）	12人（18期生）
2009年1月24日（土）	4人（19期生）

(5) 異文化交流パーティー

留学生と日本人学生の交流を目的としたパーティーを春と秋の年2回、留学生センターの談話室で開催し、200円の参加費で、スナック菓子と飲物を用意している。

＜開催日・参加者数＞

2008年5月14日（水）17：00～	46人
2008年11月5日（水）17：00～	28人

(6) おしゃべりタイム

毎週木曜日の12：00～13：00に留学生センターの談話室で「おしゃべりタイム」を開催し、留学生と日本人学生が昼食を食べながら語り合う時間を設けているが、木曜日以外にも留学生と日本人学生が昼食を共にしている姿がみられる。

(7) 異文化理解教育等への協力

県内の教育機関で行われている異文化理解教育や市・町・村主催の国際交流行事、地域の各種団体が主催する行事等に参加依頼・協力依頼があった場合は、その要請に応じて、都合のつく留学生の派遣を行っている。

- ・氷見市立南部中学校（2008年6月11日） 2人

4 各種情報の提供

全学の留学生を対象に、留学生活に関わる情報を提供し、地域の交流団体等が主催する行事等の案内を留学生センターの談話室に掲示している。

国際交流団体および行事内容については「外国人留学生関係行事一覧」を参照していただきたい。

5 オリエンテーション

(1) 学部新入留学生のためのオリエンテーション

学部教員や留学支援チーム、学生支援グループ等の協力により、前期の授業開始日前に、全学のオリエンテーションとは別に、学部新入留学生を対象としたオリエンテーションを実施している。オリエンテーション終了後には、先輩学生の協力を得て、「前期時間割」を作成し、更に、留学生指導部門担当教員が留学生センターの施設案内をしている。

＜実施日時＞

2008年4月10日（火）17：40～

＜オリエンテーションの内容＞

- ・教職員の紹介
- ・留学生センター及びその他の施設について
- ・留学支援チーム及び学生支援グループ職員による所掌事項について（奨学金、授業料免除、アルバイト等）
- ・危機管理について（各種保険等）

- ・ 教養科目履修について（先輩留学生の手助けで前期時間割作成）

(2) 新規来日非正規生（研究生，科目等履修生，特別聴講学生）のためのオリエンテーション

<実施日時・参加者数>

2008年4月14日（月） 6人

2008年10月10日（金） 9人

<オリエンテーションの内容>

- ・ 学内・学外における諸手続きについて
- ・ 留学生センターについて
- ・ 学生生活について
- ・ 危機管理について

(3) 平成20年度外国人留学生（新入生）合宿研修

この研修は学務部留学支援チームの主催で行われ，留学生センターからは指導部門担当教員と日本語教育部門の教員（計2人）が参加した。

<実施日>

2008年5月10日（土）～11日（日）（1泊2日）

<実施場所>

富山県南砺市利賀村 スターフォレスト利賀

<参加者>

- ・ 学部新入留学生
- ・ 在日留学生
- ・ 工学部教員
- ・ 経済学部教員
- ・ 人文学部教員
- ・ 留学生センター教員
- ・ 留学支援チーム職員

<研修の内容>

- ・ 大学生活の心得について
- ・ チューター制度について
- ・ 留学生活における問題の解決法・地域との交流について(指導部門教員が担当)
- ・ 各種奨学金，アルバイト，授業料免除制度について
- ・ 福利厚生について
- ・ 「キャンパスガイド」事項説明
- ・ 質疑応答

6 海外留学相談

留学生センターの1階に『留学情報資料室』を設置し，海外留学を希望する学生に情報の提供を行うとともに，留学生指導部門担当教員が留学の相談にのっている。

面談回数： 16 回
相談者数： 15 人

人文学部 5 人
人間発達科学部 2 人
経済学部 5 人
理学部 2 人

卒業生 1 人
計 15人

希望留学先：英語圏諸国（カナダ，アメリカ，イギリス等），フランス，韓国，エジプト

7 その他

(1) 富山大学留学生教育指導連絡会議

2002年9月24日に「富山大学留学生指導連絡会議要項」を制定し、以来留学生指導等の充実を図るために連絡会議を開催し、留学生に関する様々な問題について各学部の教員及び事務との情報交換・意見交換を行って来たが、2006年7月21日に「富山大学留学生教育指導連絡会議」として再スタートし、引き続き留学生の教育及び生活指導等の充実を図ることを目的に、各学部や留学支援室と連携して会議を開催して情報・意見の交換、収集を行った。

<開催日>

2008年9月11日（木）

2009年3月4日（水）

(2) ホームビジット・プログラム

全学の留学生を対象とした1日家庭訪問プログラムを「言語交流研究所ヒッポファミリークラブ」の協力により実施した。

<実施日・参加者数>

2008年8月4日（月）

2人

(3) 富山県留学生等交流推進会議総会座談会

毎年1回開催される富山県留学生等交流推進会議総会の後に開催される「留学生との座談会」の司会及び座談会参加学生との事前打合せを、指導部門担当教員が数年に亘り引き受けてきた。2008年度は、「第9回教育・研究フォーラム～留学生に対する就職支援」（11月28日開催）を指導部門教員が中心になって立案したため、座談会司会等は日本語教育部門の教員が行った。

8 おわりに

2008年10月現在、富山大学には330人の外国人留学生が在籍している。そのうち、五福キャンパスには280人が在籍している。

富山県では、県内在住の大学等の私費留学生（学部1年生と大学院生は全員。学部2～4年生は、学業成績が上位10%以内の学生）に対し、県から「富山県国際交流奨学金」として1万円（年間12万円）が支給されている。また、国民健康保険料の助成もおこなわれている。さらに、2002年10月より財団法人とやま国際センターが、富山県、富山県婦翔会、留学生を受け入れる富山県内の大学・短大・高専、宅地建物取引業の団体などの連携協力のもとに、「留学生住宅確保支援制度」を実施している。こうした地域の人々の暖かい支援により、留学生がより安定した居住環境の中で安心して留学生活を送ることができるようになり、大変感謝している。

これからも地域との緊密な連携をはかり、留学生支援体制の充実のため一層の努力をしていきたい。